



春 江 だ よ り

5 月 号

令和 7 年 5 月 1 日

江戸川区立春江小学校

本校の特色ある教育活動

校長 小林 麻子

校庭の木々が青々とした葉を揺らし、爽やかな風が心地よい季節となりました。先日は第一回保護者会に多くの保護者の皆様にご参加いただきまして、ありがとうございました。全体会では本校の挨拶について、新年度になり昨年度よりすすんで挨拶できる子、お辞儀をして丁寧に挨拶できる子が増えている話をさせていただきました。春江小に来て毎朝校門で子供たちを迎えて3年目となりましたが、今年は今までの中で一番多く、子供たちが素敵な挨拶をしています。挨拶は人と人との関わる第1歩。互いに挨拶することで気持ちが爽やかになり、明るい気分になります。そして、挨拶をきっかけに相手のことを少しずつ知ったり、自分のことを知ってもらったりして、つながりを持ち、関わりを深めることができます。引き続き、春江小学校は挨拶を推進してまいります。

さて、春江小学校は特色ある活動として、「たてわり班活動」を実施しています。異学年交流活動として年間通じて計画をしています。本活動は、6年生が中心となり、遊びの計画、準備、活動、振り返りをしていく中で、高学年は下級生の手本となる自覚や責任をもつこと、下級生はみんなで協力することの大切さを学ぶことなどを目的としています。異学年の子供たちが関わることにより、社会性を育てコミュニケーション能力を養い、本校の教育目標の一つである「思いやりのある子」、自分も他の人も大切にすることを育てます。

8日は「たてわり班活動」の第一回目が実施されます。現在、それに向けて、班長や副班長が一生懸命計画を立てています。本校の特色ある活動である「たてわり班活動」の取組を本年度も充実させるとともに、様々な人との「関わり」を広げたり、深めたりしていきます。

たてわり班では、つばき学級の子供たちも班の子供たちと一緒に楽しく活動します。縦割り班活動の他、運動会、校外学習をはじめ、様々な学校行事や授業においても、共に学び、関わる活動を通して、互いの理解や思いやりの心を育むことを大切にしていきます。

また、本校では「柿の木プロジェクト」に参加が決まり、昨年度3月に6年生が「被爆柿の木2世」の苗木を敷地内に植樹しました。長崎で被爆しながらも奇跡的に生き残った柿の木から生まれた「被爆柿の木2世」の苗木を育てることで、平和と命の大切さを学びます。今年度は、全校児童でその苗を育てながら平和について考える活動を行っていきます。プロジェクトの代表、現代芸術家宮島達男氏は江戸川区出身、そして、樹木医でいらした故小池伸男さんは、春江町の小池農園の方で、「春江」と偶然つながりがあります。このご縁を大切に様々な学びに生かしていきたいと思ひます。

パリパラリンピックに出場された、本校卒業生である松本武尊選手が3月に春江小学校に来校された映像が、えどがわ区民ニュース「えどトピ」で放映されています。